

糸梓（郡山町・杵ヶ丸遺跡）



埋没河川出土の木製農具未製品（郡山町・杵ヶ丸遺跡）

木製高杯（郡山町・杵ヶ丸遺跡）



# ゆく河の流れは 遺跡は移るふ 絶えずして

## 2022.3.15(火) ▶ 6.12(日)

【開館時間】午前9時～午後5時 【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日)

【観覧料】**無料**(ただし、常設展示は、小・中学生150円、高校生以上300円)

**関連イベント ※無料**

**展示説明会...**  
当館学芸員による展示資料の説明会。

日時: 3/20(日)、4/3(日)、  
5/1(日)、6/5(日)  
全て13:30から30分ほど。

場所: ふるさと考古歴史館 企画展示室  
申込み: 不要

【新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際には次の点に注意をお願い申し上げます】

- ① マスクの着用、検温並びに施設利用者カードの記入へのご協力をお願いいたします。
- ② 具合の悪い方、**過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等した方**は入館をお控えくださいますようお願いいたします。
- ③ 一度に入館できる人数を制限させていただきます。入館者数の状況によっては、入館までお待ちいただく場合があります。ご了承ください。

なお、当面の間、当館の職員・スタッフがマスクを着用している場合がございますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。

# 川の流れ、時の移ろい、人の足跡、その行く先

生きとし生けるものの生命の源である水。悠久の時を通じその貴重な資源を提供する「河川」を、私たち人間は様々な目的で利用してきました。水路に導かれた豊富な瞬間、流域特有の文化・風俗の醸成、川べりで営まれた祭祀・信仰の発生、技術を支える動力の供給、水利を活かした物流の展開など、その地を生きた人々は「河川」から多様な恩恵を受け、今日にいたる繁栄の歴史を支えられてきたのです。

本年のふるさと考古歴史館春季企画展では、鹿児島市内を流れる「河川」周辺で実施された発掘調査成果を水系ごとに取り上げ、「河川」と密接に関わってきた人々の生活や活動を裏づける出土品を展示いたします。



源流の地に“封じられ”し時代を超えた数々の木製品

～戸ヶ丸遺跡(郡山町)～



暴れ川のほとりで繰り広げられた炎と水の競演

～堂園遺跡(上福元町)～



山間部をうねる小規模河川が縄文人の交流を誘う

～湯屋原遺跡(東俣町)～



河口に響く上方の賑わい

～春日町遺跡・若宮遺跡(春日町・池之上町)～



埋没した河川に刻まれたのは祈りと生産の轍

～不動寺遺跡(上福元町)～



江戸の時代に流れを変えた旧河道の痕跡

～鹿大構内遺跡郡元団地JT跡地(上荒田町)～



〈交通案内〉  
JR指宿枕崎線慈眼寺駅より徒歩20分  
慈眼寺公園前バス停留所より徒歩15分  
谷山インターより車で10分